

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">1</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">12 番 杉 田 勝 典</p>	<p>1. まち・ひと・しごと創生法について</p> <p>(1) 市町村には地方版総合戦略策定の努力義務が課せられるが、当市では、若者や女性の安定した雇用の創出と中央から地方への転出促進策（地方移住）について、現時点でどのような施策を想定しているか。</p> <p>(2) 平成 26 年度補正予算で、地方創生交付金を活用したプレミアム付き商品券の発行補助事業を計上しているが、上越妙高駅からの観光客が中心市街地で利用できるプレミアム付き商品券の発行を検討できないか。</p> <p>2. 日本遺産制度の活用について</p> <p>(1) 国が新設する日本遺産制度に、三城物語（春日山城・福島城・高田城）を登録し、ハード整備や海外向けも含めた旅行プラン・専用ウェブサイト等の構築を目指す考えはないか。</p> <p>3. 当市の特産品や農産物の販売促進について</p> <p>(1) メイド・イン上越認証品の特産品について、現在の情報発信方法と売り上げ状況を聞きたい。また、認証した商品をブランドとして確立させるための次のステップを考えているか。</p> <p>(2) 当市の米などの農産物の海外市場での販売状況や今後の見込みはどうか。また、米を国際商標登録してブランド力を高めるなど、輸出に向けた具体的な方策を考えているか。</p> <p>4. 市域外との交流や北陸圏との連携について</p> <p>(1) 市域外との交流を促進し、「域際収支」を改善するため、民間企業と協力して企画や政策を展開できる人材を育成する考えはないか。</p> <p>(2) 北陸新幹線による当市への誘客のため、金沢や富山との連携強化を加速できないか。</p> <p>(3) 北陸の空港からアジア人観光客を呼び込む方策を考えているか。</p> <p>5. 農協改革が当市に与える影響について</p> <p>(1) 今回の農協改革によって当市の農業政策はどのように変わるか。また、今後の農業政策をどのように進めていくのか。</p>
<p style="text-align: center;">2</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">29 番 永 島 義 雄</p>	<p>1. 大規模災害時に想定される多数の遺体の処置について</p> <p>(1) 大規模災害が発生した際には多数の遺体の搬送や保管などの応急処置が必要になることが想定される。市は、そうした事態に備え、全国組織の葬祭業界と提携するなどしているか。</p> <p>2. 地方版総合戦略の策定について</p> <p>(1) 市町村に策定の努力義務が課せられる地方版総合戦略について、現時点でどのような戦略を想定しているか。</p> <p>3. 平成の大合併の総括について</p> <p>(1) 平成の大合併から 10 年が経過したが、当市の合併の効果に関して、市長の総括を聞きたい。また、13 区の住民に対して、合併をテーマとした市民アンケートを実施し、合併の効果と課題をお聴きする考えはないか。</p> <p>4. 北陸新幹線開業に伴う企業や商業施設の誘致について</p> <p>(1) 北陸新幹線開業によって、当市は交通の利便性が一層高まったが、市内への企業誘致はどの程度進んでいるのか。また、上越妙高駅周辺地区に新たな商業施設の誘致の動きはあるのか。さらに、上越妙高駅周辺地区の将来展望はあるのか。</p> <p>5. 文化の振興による交流人口拡大について</p> <p>(1) 市は例年、観桜会期間中に開催される「上越水墨画フェスティバル」に後援という形で関わっている。今年は北陸新幹線も開業し、より多くの来場者が期待できるが、後援という形ではなく、主催者としてフェスティバルを継続する考えはないか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">3</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">7 番 中 川 幹 太</p>	<p>1. マイナンバー制度への準備等について</p> <p>(1) 内閣府が平成27年1月に行った調査では、国民の7割がマイナンバー制度を理解していなかった。当市においても理解している市民は少ないと思われるが、今後、市民や企業等に対してどのように周知していくのか、スケジュールも含めて聞きたい。</p> <p>(2) 当制度では、自治体の各種サービスにこの制度の番号を活用できるが、マイナンバー法で規定する制度以外に、当市独自で活用する事務事業はあるか。また、活用に当たりどのような課題が上がっているか。</p> <p>(3) 「なりすまし」などによる個人情報の悪用が懸念されるが、対策は考えているか。</p> <p>(4) 当制度では、地方自治体のサイバーセキュリティ対策も重要視されているが、当市では今までにどのようなサイバー犯罪の被害があったか。また、サイバーセキュリティ対策は万全か。</p> <p>(5) 当制度の開始に当たり、システム改修をはじめ、制度に対応するために要する経費はいくらか。</p> <p>2. 都市から地方への人口流入策について</p> <p>(1) 政府の「まち・ひと・しごと創生本部」では、地方で若者の雇用創出、地方移住や企業等の地方移転の促進などを掲げ、地方創生を目指している。この動きに対し当市は次の項目についてどのように行動するのか。</p> <p>ア 政府が示した「平成27年度に自治体から誘致の提案を募り、国の研究機関などを地方に移転する」ことについて</p> <p>イ 移住希望者を積極的に受け入れる体制づくりについて</p> <p>(2) 新水族博物館を核とした地域活性化についてどのように取り組むのか。</p> <p>3. ふるさと納税のお礼の品について</p> <p>(1) メイド・イン上越に選ばれた商品をふるさと納税のお礼の品の対象にできないか。</p>
<p style="text-align: center;">4</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 番 石 田 裕 一</p>	<p>1. 災害時の各種団体との応援協定などについて</p> <p>(1) 市は災害に備え、各種団体と災害時応援協定を結んでいるが、実効性のある協定となっているか。また、協定先を拡充する考えはないか。</p> <p>(2) 市が公開している「災害時応援協定等締結先団体一覧」を見ると、市内の企業ではなく、市外大手企業と協定を結んでいる例があるが、その理由を聞きたい。</p> <p>2. 信越トレイルの積極的な活用について</p> <p>(1) 信越トレイルは新潟・長野両県にまたがる、総延長80kmの日本有数のロングトレイルであるが、以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 過去の利用者数の状況はどうか。</p> <p>イ 北陸新幹線の開業を好機とし、信越トレイルを積極的にPRする考えはないか。</p> <p>ウ 信越トレイルを構成する峠道は、越後と信濃を結ぶ交通の要所として、古い歴史を持っている。この貴重な財産を小中学生に教え伝えることで、郷土愛を育むことにもなると思うが、考えを聞きたい。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">5</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 番 櫻 庭 節 子</p>	<p>1. 市民の健康と地域の居場所づくりについて</p> <p>(1) 平成27年度一般会計予算では、小中学校において、生活習慣病予防教育を推進するとしているが、各家庭での予防につなげるため、児童生徒だけではなく、親も対象にした生活習慣病予防教育を実施する考えはないか。</p> <p>(2) 健康増進計画の目標達成のためには、市民のライフステージに応じた各種施策を実施する必要があるが、市は、どの年代に向けた施策が特に重要だと考えているか。</p> <p>(3) 高齢者向けサロンや認知症カフェなどを介護予防の目的だけにとどめず、子育て中の母親への支援や、子供たち、地域住民が集う「地域の居場所」とすることはできないか。</p> <p>2. 中山間地域や農業の振興に関する取り組みについて</p> <p>(1) 市は中山間地域振興基本条例にのっとり、各種の事業に毎年取り組んでいるが、取り組みの成果をどのように検証し、次年度につなげているか。</p> <p>(2) 中山間地域の農業は、平場よりも所得の向上を図ることは難しく、疲弊した農家が増えている。中山間地域の農業を守っていくために、農業所得の向上に向けた「ふるさと玉手箱事業」のような新たな支援策をもっと多く検討する考えはないか。</p> <p>3. 上越産米の消費拡大について</p> <p>(1) 旅行者に当市のおいしい米をアピールするため、市内の旅館やホテルで上越産米の使用を推進し、「棚田米使用の宿」や「上越産のおいしいご飯の宿」などのキャンペーンを展開できないか。</p>
<p style="text-align: center;">6</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">26 番 近 藤 彰 治</p>	<p>1. 山麓線（県道上越新井線）全線開通に伴う課題について</p> <p>(1) 昨年10月15日に全線開通したが、開通後の交通量調査の結果について聞きたい。</p> <p>(2) 現在、黒田交差点以南が2車線であり、地元では、交通安全確保のため、4車線化に向けた動きがある。地元での動きをどのように捉えているか聞きたい。</p> <p>2. スポーツ行政について</p> <p>(1) 6月7日に開催予定の高田城ロードレース大会は、北陸新幹線「上越妙高駅」開業の冠事業として実施することとしているが、北陸新幹線開業を機に、これまでよりも多くの参加者を募集する取組を行う考えはあるか聞きたい。</p> <p>(2) 一般スポーツ活動推進事業において、高田城ロードレース大会だけが昨年度予算より減額されている。「上越妙高駅」開業と謳っている大会をどのように盛り上げようと考えているか聞きたい。</p> <p>(3) 高田公園内では、高田公園野球場がリニューアルされ、高田公園陸上競技場も改修等に向け事業着手される見通しとなり、また、(仮称)厚生産業会館も建設に向け進んでいる。ここで、心配になるのが駐車場の確保である。大会等が重複した場合を想定し、駐車場の計画を拡大すべきと思うがどうか。</p> <p>3. 上越妙高駅周辺整備について</p> <p>(1) 駅周辺整備で賑わいを創出するためには、どのくらいの期間を見込んでいるのか。</p> <p>(2) のびやかJプランに掲げられているホワイトバレー構想を実現する考えはあるか。</p> <p>(3) 駅周辺整備において、上越市新幹線駅周辺地区商業地域土地利用促進協議会の西口開発事業部会と市の連携はうまく図られているか聞きたい。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
7 25番 柳沢周治	<p>1. 地域協議会の権能強化を支援する施策について</p> <p>(1) 地域協議会検証会議の報告書に対する市の見解を聞きたい。また、地域協議会の認知度の向上に向け、新たな対策を考えているか。</p> <p>(2) 報告書では「各区の意見を代表する機能は地域協議会にゆだね、市議会は、全市的な観点から議論し、意思決定していくこと」を展望している。市議会と地域協議会の役割を制度上明確にすることで、両者の権能が有効に連携すると考えるが、市の考えを聞きたい。</p> <p>(3) 地域協議会委員の資質ややりがいの向上に向け、委員の報酬を見直すべき時期にあると思うが、市の考えを聞きたい。</p> <p>2. 原発再稼働に対する隣接自治体の同意と広域避難計画について</p> <p>(1) 原発の再稼働については、立地自治体だけではなく、避難計画の策定義務がある原発 30 km圏内の自治体の同意も得るべきだと考える。柏崎刈羽原発を運転する東京電力に対し、再稼働については当市の同意も得よう求める考えはないか。</p> <p>(2) 県による県外避難計画策定の見通しが立たないが、原発災害の拡大により、屋内退避計画地域外への避難が必要になった場合に備え、市独自の避難先及び避難ルートの計画作成を急ぐ必要があるのではないか。</p> <p>3. 第6期介護保険事業計画の課題について</p> <p>(1) 介護給付の抑制に向けた制度改正として、要支援1・2を含む介護予防のあり方が大きく変わるが、住民組織等が担う介護予防の取り組みの体制づくりはどこまで進んでいるか。また、全市一斉にスタートできる時期はいつ頃になるのか。</p>
8 10番 瀬下半治	<p>1. 女性の社会進出の推進について</p> <p>(1) 平成18年の改正男女雇用機会均等法の施行以後、市では、法の趣旨に基づく数々の施策を行ってきた。政府は、今国会で昨年末の臨時国会に引き続き「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律案」を再提案し、従業員300人を超える事業主に女性の活躍についての目標設定等を求めている。市内の企業・団体においても、女性が働きやすい環境整備を更に進めるべきと思うが市長の見解を聞きたい。</p> <p>(2) 政府は、平成32年に指導的な地位を占める女性の割合を30%とする具体的な目標を掲げている。民間に先駆けた取組が求められる自治体として、市役所における管理職の女性登用を推進するべきと思うが、現状と照らし合わせ、今後の考えを聞きたい。</p> <p>2. 市街化調整区域における住宅建築促進について</p> <p>(1) 昨年4月に市街化調整区域における土地利用の適正化の運用が開始され、間もなく1年を迎える。これまでの間において、人口減少と少子化が進む市街化調整区域に与えた影響について聞きたい。</p> <p>3. 消防団員に対する災害情報伝達について</p> <p>(1) 平成26年度の新規事業として、消防団の部長階級以上の団員に対する災害情報の一斉メール配信に取り組んだが、その効果はどうか。また、全消防団員に対する配信についてはどのように考えているか。</p> <p>4. 小・中学校の一貫教育について</p> <p>(1) 市内では、モデル的に4中学校区で「小中一貫教育」が実践されているが、中央教育審議会の答申によると、小・中学校9年間を、現在の「6・3制」の枠にとらわれることなく、一体的に学ぶ小中一貫校の設置が制度化され、平成28年度にも各自治体の判断で導入できるようになる見通しである。現在、市ではモデル的に実施しているが、今後の取組方針について聞きたい。</p> <p>(2) 小中一貫教育の導入による効果をどのように捉えているか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">9</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">9 番 鴨 井 光 夫</p>	<p>1. 地方創生に向けた人材活用について</p> <p>(1) 国では、地方創生に取り組む自治体を支援するため、国との相談窓口となる「地方創生コンシェルジュ制度」を実施するが、これを活用する考えはあるか。</p> <p>(2) 当市において、地方創生のために必要とされる人材像を明確に発信し、全国から公募するなどの取り組みは考えられないか。</p> <p>2. いじめの未然防止や早期発見について</p> <p>(1) いじめの未然防止や早期発見のためには、児童生徒や保護者が、悩みを抱え込まず、担任教諭だけではなく、誰にでも相談しやすい体制づくりが必要だと考えるが、市はこうした体制づくりにもどのように取り組んでいるか。</p>
<p style="text-align: center;">10</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">1 番 田 中 聡</p>	<p>1. 北陸新幹線開業後の取り組みについて</p> <p>(1) 北陸新幹線開業後の市内企業、市民団体、NPOとの協力関係をどのように考えるか。</p> <p>(2) 開業1周年イベントを「食の魅力発信」と銘打っているが、イベントを成功させるため、この1年間、市の知名度向上と誘客促進にどう取り組む考えか。</p> <p>(3) 北陸新幹線開業を生かしたコンベンション誘致への取り組み方針と、受入れ態勢の整備について聞きたい。</p> <p>2. 高田公園桜長寿命化計画について</p> <p>(1) 平成26～30年度を第1期計画期間とし、桜の保全を行うとしているが、第1期計画期間が終了した時点で、桜の本数はどのように変化すると考えているか。</p> <p>(2) 計画では、事業費の財源として、社会資本整備総合交付金を活用するほか、ふるさと納税など他の財源も検討するとしているが、事業の目標値に対して、財源は十分確保できるか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
14 番 笹 川 栄 一	<p>11</p> <p>1. 公の施設の再配置と指定管理者制度について</p> <p>(1) 新たな「上越市公の施設の再配置計画」では、清里区の山荘京ヶ岳を平成 28 年度をもって休止するとしているが、どのような順序で計画を進めるのか。また、「施設の在り方を検討する」とあるが、休止期間をどの程度見込み、休止後の施設をどうしていく考えか。施設の存続も価値ある投資と思うがどうか。</p> <p>(2) 山荘京ヶ岳は、公費負担が多額であることを休止の理由に挙げているが、指定管理施設の中には、指定管理料とは別に修繕などで多額の公費が投入されるケースがある。これらの施設は存続し、直営施設である山荘京ヶ岳を休止する理由は何か。また、公の施設に指定管理者制度を導入するか否かは、自治体の裁量に委ねられているが、当市の温浴施設について、指定管理施設と直営施設の違いをどのように整理しているか。</p> <p>(3) 温浴施設の再配置について、住民理解を得る方法として、無作為抽出した住民が参加する施設評価の場を設ける考えはないか。また、地域説明会やアンケート調査を実施する考えはないか。</p> <p>(4) 今回の再配置計画で示された方針の変更はあり得るのか。今定例会の総括質疑で、「施設廃止後の利活用に関し検討の熟度を更に上げていく必要がある施設もある」旨の答弁があったが、具体的にどういった施設を指しているのか。また、廃止による財政効果はどの程度か。</p> <p>2. 上越市空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例（案）について</p> <p>(1) 議会が主体となり、行政の協力を得ながら検討を進めてきた上越市空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例が成立する見込みである。この条例の施行を前に、市長の空き家対策への思いを聞きたい。</p> <p>(2) 空き家の活用促進の取組が重要になってくると思うが、今後、市としてどのように取り組んでいくか。</p>
12 番 草 間 敏 幸	<p>12</p> <p>1. ご当地ナンバープレートについて</p> <p>(1) 北陸新幹線が開業を迎え、上信越自動車道も 4 車線化が決定した現在、ご当地ナンバーを導入することで、当市の知名度向上を図ることができると思う。導入には、対象となる地域の基準を満たさなければならないが、次回の募集に備え、周辺自治体と協議を行い、県に要望する考えはないか。</p> <p>2. 再生可能エネルギー導入計画について</p> <p>(1) 再生可能エネルギー導入計画には、平成 26～32 年度までのロードマップが示されているが、事業実施に向けた準備期間とした平成 26 年度の進捗状況を聞きたい。</p> <p>(2) 建設計画中の（仮称）厚生産業会館や新水族博物館、遊休資産への再生可能エネルギー導入の考えはないか。</p> <p>(3) 電力会社の太陽光発電の買取り条件の新ルール施行や、平成 27 年度からの太陽光発電買取り価格の更なる引き下げの検討など、再生可能エネルギー導入計画の策定時から情勢が変化しているが、市有地貸付等の支援によるメガソーラー事業には、どのような影響があるか。</p> <p>3. 次世代エネルギーパーク構想について</p> <p>(1) たにはま公園では現在、民間事業者が太陽光発電所を運転しているが、市として、たにはま公園内に再生可能エネルギー施設を整備し、発電された電気を公園内で活用するなど「次世代エネルギーパーク構想」に取り組む考えはないか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
31 番 本 城 文 夫	<p>13</p> <p>1. 三和区市有地の産業廃棄物残置問題について</p> <p>(1) 平成 26 年 12 月定例会において、「三和区宮崎新田の市有地に放置されている産業廃棄物の実態調査のための調査費を来年度予算に計上することを求める請願」が、賛成 15、反対 16 で不採択となった。この拮抗した議会判断についての重さをどのように受け止めているか。</p> <p>(2) 三和の水とみどりを育てる会と当市及び新潟県の間で、質問と回答のやり取りがあるが、市長は法的（廃棄物処理法）についてどう認識し、市の責任をどのように受け止めているのか。</p> <p>(3) 市では水質検査の結果が環境基準値内であり問題ないとしているが、土壌のダイオキシン汚染や地下水汚染など、地域住民の生活環境保全上の支障の恐れを取り除くことができるのか。</p> <p>(4) 合併協議での確認や三和区地域協議会からの意見に対する市長の回答などを踏まえて、市長はこの問題の解決に向けて抜本的な対策を講ずる考えはないのか。</p> <p>(5) 地元住民は 20 年以上にわたって産業廃棄物の完全撤去を求めているが、市が撤去に 6 億円を要するとしている根拠の内訳を聞きたい。</p> <p>(6) 県の不徹底な代執行に対して、県との協議を強め、第 2 次代執行などの要請をすべきでないか。</p> <p>2. 開かれた市政づくりに向けた情報公開の推進について</p> <p>(1) 市の重要な政策意思決定のプロセスが見えてこない。基本政策にかかる情報公開についての考えを聞きたい。例えば、庁議の場での事案や議事要旨を市ホームページなどに公開する考えはないか。</p> <p>(2) 平成24年度に行政組織を再編して、政策監が担っている事務事業の総合調整機能を強化するため、政策監を統率する職として理事を置いているが、その政策調整の場を明確にする意味で会議設置規程の策定を検討する考えはないか。</p>
23 番 橋 爪 法 一	<p>14</p> <p>1. 非核平和友好都市宣言と今後の取組等について</p> <p>(1) 非核平和友好都市宣言をした自治体の首長として、安倍政権による集団的自衛権の行使容認などの動きをどう見ているかききたい。</p> <p>(2) 戦後 70 周年及び非核平和友好都市宣言 20 周年記念事業に、新版戦争体験談集発行などを追加、拡充すべきと思うが市長の見解をききたい。</p> <p>2. 原発問題について</p> <p>(1) 「避難者は依然として 12 万人」「高濃度放射性物質を含む汚染水漏れ」など、依然として影響が続いている福島第一原発事故の現状を、市長はどう見ているか。</p> <p>(2) 東京電力(株)は、柏崎刈羽原発を早期に再稼働したいとの意向を示していると報じられているが、どう思うか。</p> <p>(3) 再稼働に必要な「地元同意」に、少なくとも 30 km圏内の自治体を含めるべきだと思うが、現段階でどう考えているかをききたい。</p> <p>(4) 「実効性ある避難計画なしには再稼働はありえない」という声が広がっているが、市長の認識はどうか。</p> <p>(5) 原子力規制委員会も経済産業省も、原発同時事故や原発集中立地の問題を何ら検討していないことが問題となっているが、これについての市長の見解をききたい。</p> <p>3. 農業問題について</p> <p>(1) 政府は「聖域」にするとやってきたコメ、牛肉・豚肉、乳製品など重要 5 品目について、譲歩に次ぐ譲歩を重ねている。交渉は米国主導となっているなどの批判の声が多いが、TPP 交渉の現状をどう見ているか。</p> <p>(2) 「J A全中から指導・監査機能を奪う」、「全農を株式会社にする」、「単位農協から金融と共済事業を分離する」、「准組合員の農協事業利用を制限する」など安倍政権が進めている農協改革の動きに、市長はどう対応していくか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">15</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">8 番 平 良 木 哲 也</p>	<p>1. 市内企業の振興と労働環境について</p> <p>(1) 市は、市内企業の経営実態と今後の施策ニーズについて、どのように把握しているか。先行している他市の例に学び、今後の政策形成に資することができるよう、市内企業の悉皆調査を行うべきではないか。</p> <p>(2) 長時間労働の強制、休日勤務の強制、時間外労働賃金の不払い、結婚や妊娠での退職強要、過度の責任負荷、パワーハラスメントの放置など、ブラック企業とよばれる雇用実態に陥っている市内企業はないか。市内企業の労働実態に関しては、どのように把握し、改善に向けてはどのような手立てを取っているか。</p> <p>2. 入札制度について</p> <p>(1) 市長部局の工事及びガス水道局の本支管以外の工事の一般競争入札の対象を、予定価格 2,000 万円以上とする根拠は何か。</p> <p>(2) 地方自治法では、予定価格 130 万円以下の工事など政令で定める場合を除き、一般競争入札の方法により契約を締結するものとされているが、当市でもそうすべきではないか。</p> <p>3. 三和区市有地の産業廃棄物残置問題について</p> <p>(1) 三和区宮崎新田地内の市有地に放置されている大量の木くずについては、現状が違法状態にあると考えられるが、市はどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 同地周辺は地滑り地帯に指定されており、自然災害によって放置されている廃棄物が崩落する可能性は否定できない。これは市民の安全を脅かしかねない問題であるだけに、市としてどのような対策を取る考えか。</p> <p>(3) 市民団体の質問に対して、市は「財源などの課題の整理がついた時点で処理を検討する」と回答しているが、順序が逆ではないか。また、その時期はいつ頃と見込んでいるのか。</p>
<p style="text-align: center;">16</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">22 番 上 野 公 悦</p>	<p>1. 母子家庭への支援について</p> <p>(1) 一般的に母子家庭の置かれている状況が厳しいと言われているが、当市における母子家庭の現況をどう把握しているか。また、母子家庭における母親の就業実態や経済的状况をどう認識しているか。</p> <p>(2) 昨年度より、母子家庭における就業・自立に向けた総合的な支援策として、「子育て・生活支援」、「就業支援」、「養育費確保支援」、「経済的支援」などの取組が強化された。当市におけるこれまでの取組状況を聞きたい。</p> <p>(3) 児童扶養手当について、手当削減の撤回、受給条件の緩和、支給額の拡大など制度の改善・拡充を国に求めるべきと思うがどうか。また、多方面に影響する生活扶助基準の引き下げについても、市長が先頭になって反対の声を上げていくべきと思うがどうか。</p> <p>2. 子どもの貧困対策について</p> <p>(1) 昨年 1 月に施行された「子どもの貧困対策の推進に関する法律」（貧困法）に対する市長の認識を聞きたい。</p> <p>(2) 当市における子どもの貧困の実態はどうか。また、削減数値目標を設定し、対策に取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 以下の具体的な施策に対する市の考えを聞きたい。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 就学援助の拡大や学習支援制度の充実など教育の機会均等の確保について</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 学校で貧困問題に当たるスクールソーシャルワーカーの配置増員について</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 経済的困窮世帯の子どもたちに対する奨学金の拡充や給付型奨学金の創設について</p> <p>3. 経済対策の取組について</p> <p>(1) 消費喚起、市内経済の循環・波及効果の高い「商店リニューアル支援事業」（仮称）を「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」を活用して取り組んではどうか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
17 5 番 滝 沢 一 成	1. 市長の市政運営の考え方について (1) 合併後 10 年を迎えたが、この間市はどのように変わってきたと評価しているか。市長は 6 年に亘り市政運営にあたっているが、今の当市の姿は、当初市長が目指した姿になっているか。 (2) 北陸新幹線開業など大きな節目に当たる今、第 6 次総合計画というかたちで戦略・戦術を示されたわけだが、市長の目指す「すこやかなまち」とは、具体的にどのような都市像（あるべき姿）なのか。 (3) 都市間競争という視点で当市をとらえたとき、市長はどのような構想を持っているか。 (4) 市のイメージの確立（ブランディング）について、市長及び教育長はどのように考えるか。 ア 「教育都市上越」について イ 「医療先進都市上越」について 2. 上越妙高駅の市営駐車場について (1) 他の新駅の公営駐車場に比べ、当市の駐車場料金が割高である。改善を図る考えはないか。
18 17 番 渡 邊 隆	1. 新水族博物館建設について (1) 水族博物館東側にある各種公共施設の老朽化が進んでいる。海浜公園も含め、新水族博物館の整備に併せて、地域の賑わいづくりにつながるよう、それら施設の有効活用や改修を進める考えはないか。 (2) 来館者の市内滞在などによる直江津市街地への波及効果をどの程度見込んでいるか。 2. 建築計画に対する指導・助言について (1) 市では、近隣に居住する市民の不利益に値する建築計画と分かった場合、当事者へ積極的に指導・助言を行えるシステムにあるのか。

順位 議席 氏名	質 問 事 項
15 番 塚 田 隆 敏	<p>19</p> <p>1. 健康都市を目指す取り組みについて</p> <p>(1) 第6次総合計画で示された「すこやかな暮らし」を実現するためには、健康福祉分野を充実させることが重要と考えるが、当市の保健師及び栄養士を増員し、健康都市を目指す考えはないか。</p> <p>2. 健康都市の実現による定住者増加について</p> <p>(1) 当市を健康都市として全国に発信できれば、移住者も増えると思うが、市の考えを聞きたい。</p>
24 番 上 松 和 子	<p>20</p> <p>1. 五智公園の整備及び旧青少年文化センターの跡地について</p> <p>(1) 五智公園は、直江津地区での周遊場所として重要と考えるが、今後の整備の方向性を聞きたい。</p> <p>(2) 交通公園に隣接する旧青少年文化センターの跡地の一部は、駐車場として利用しているが、今後について聞きたい。</p> <p>2. なおえつ海水浴場の安全管理について</p> <p>(1) 毎年、市内外から多くの人を訪れ、海水浴やマリンスポーツを楽しむが、中でも水上バイクをする人と海水浴をする人が至近距離にあるために危険という声がある。市では、どのように安全対策を講じているか。</p> <p>(2) 駐車場の利用や海岸利用時のマナー遵守について、周知徹底を図る必要があると考えるがどうか。</p> <p>3. 食品ロス等削減の取組について</p> <p>(1) 日本では、本来食べられるのに廃棄されている食品ロスが、年間に約500万～800万t発生していると推定されている。当市における食品ロスの推定量はどの位か。</p> <p>(2) 食品ロスの削減には、家庭や飲食店等での取組も重要である。市では、家庭や飲食店等に対する啓発を行っているか。</p> <p>(3) 学校給食における食べ残しに対する取組はどうか。</p> <p>(4) 宴席等での食べ残しを削減するため、終了前の一定時間に料理をゆっくりと楽しむ「食べきりタイム」を提唱してはどうか。</p>